



ともそだち通信 No.25 みつばちぶんぶん3月号 平成23年度

発行：日立市教育委員会生涯学習課 家庭教育サポーター
問い合わせ先：0294-23-9157

ともそだち・・・

親と子が共に育ちましょう
親と親も共に育ちましょう
サポーターも共に歩みます

また、お会いしましょう！

今年度、家庭教育サポーターは、おもちゃライブラリー、図書館お話し会、育児サークルや幼稚園の保護者勉強会、地域の家庭教育講座など、多くの訪問の機会を与えていただきました。また、12月からは多賀図書館おはなし広場ふわふわへおじゃましたり、年間を通して親の学び講座やおしゃべりティータイム・ベビータイムを開催したりしました。

2月までに、2000人近いママとパパにお会いしました。

特に嬉しいのは、何度かお会いするうちにお互いに顔を覚えてお話ができることです。先輩ママとしてのサポーターの経験が、少しだけ役立つ時あれば、赤ちゃんを抱っこさせてもらい、幸せをママから分けてもらうこともあります。

春はお出かけの季節。親のみなさん、また色々な所でお会いしましょう！

受付中！ おしゃべりティータイム&シャボン玉とぼそう

コーヒーを飲みながら、子育てについての話し合いをします。

その後には、お外でシャボン玉をとばして遊びます。

- ・と き：4月12日（木）・17日（火）・25日（水）
午前10時00分～11時30分
- ・ところ：会瀬青少年の家
- ・対象：未就園児（1歳～）の親子

- ・持ち物：お子さんの飲み物と着替え
- ・参加料：無料 ・定員：各日15組
- ・申込み：3月30日（金）まで電話で申込み後に抽選

日立市教育委員会 生涯学習課 家庭教育サポーター **23-9157**



ともそだち講演会を開催しました

3月10日（土）日立シビックセンターに汐見稔幸先生をお招きして、『ほめる』『しかる』ではなく、『共感する』子育てを—子どもの生きる力を育てる言葉かけ—

というテーマで、ともそだち講演会を開催しました。たくさんのお申込みをありがとうございました。また、残念ながら参加が叶わなかったみなさんへ、汐見先生からメッセージをいただきましたので掲載します。



子育てで一番大切なことは、

子どもが自分で考えて判断できることです。そのために親は、子どもの言葉や態度を頭ごなしに反発しないで、受けとめ共感してください。その後には、指示ではなく、「こんなやり方はどうかな」のように提案し、子どもが決められるよう意識してみてください。

子育て中のお父さんに知っておいてほしいことは、

子どもは、ちょっと面倒くさい体験を克服することで発達していくものです。子どもを思い切り、体いっぱい使って遊ばせてください。子どもは、自分で体験して、いろんなものに興味を持っていきます。これはお母さんだけでは大変です。お父さんが頑張ってください。

子どもと関わる仕事をしている人に心に留めてほしいことは、

子どもたちの隣にいる人、「何があっても応援しているよ」「何かあったら来なさい」という眼差しで、子どもの深い味方になってください。人間は人と人との関係で見守られて育っていきます。